第 97 回愛知県歴史教育研究会開催要項

1　目的　　歴史総合や日本史探究、世界史探究に関する授業実践発表や講演を行うことで、参加者の授業力を高め、歴史教員としての資質を高める。
　今回は、「戦間期の歴史」と「現代」とを対比しながら歴史教育を進めることの可能性について考察を深める。

2　主催　　愛知県歴史教育研究会

3　後援　　愛知県教育委員会　高大連携歴史教育研究会

4　日時　　令和８年 12 月 26 日(土)午後１時から５時まで

5　場所　　愛知大学名古屋校舎講義棟　L307 教室
　名古屋市中村区平池町 4-60-6　　JR 名古屋駅から徒歩 15 分

6　内容　「歴史教育は現代の社会問題にいかにアプローチできるのか？」

【実践発表】

①　戦間期日本における工場労働者と労働災害－「可傷性」から捉える労働世界－
日本福祉大学　　新川　綾子

②　ズデーテン地方の併合は「民族自決」だったのか？
愛知県立昭和高校(東京大学大学院)　　大野　歩美

③　歴史語りを異文化として受け止め、語り直す歴史教育
―歴史的異文化に対する感受性発達モデルの構築とその検証―
愛知県立中村高校　　加島悠太郎

④　現代の社会問題と向き合う歴史総合の実践
三重県立川越高校　　千歳　真平

【講演】

「現代の社会問題を問い直す歴史教育の可能性
―国際連盟の経験を通して平和の実現を議論する歴史学習の構想―」
玉川大学　教育学部　教授　　宮本英征

講師紹介：1972 年生まれ。広島大学附属中・高校教諭を経て、現職。編著に『漸進型歴史学習論のデザイン研究: 学習者主体の歴史学習論の構築にむけて』(風間書房、2026 年)、『つまずきから授業を変える！高校歴史「ＰＤＣＡ」授業＆評価プラン』(明治図書、2022 年)など。

7　参加申込方法
下記 URL または QR コードより回答してください。
https://forms.gle/E3bNMwumXzNJ4gjb8